

(仮訳)

沿海地方イノベーションプロジェクトに関する投資提案

1. バイオテクノパークの設立: 沿岸水域および管轄地域の総合管理システム

プロジェクト発起人 = 企業(組織)に関する情報	
ロシア科学アカデミー極東支部 A.V. Zhirmunsky 記念海洋生物学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋生物有機化学研究所	
住所	690014 ウラジオストク市バリチェフスキー通り 17(海洋生物学研究所) 690022 ウラジオストク市ウラジオストク 100 周年大通り 159(太平洋生物有機化学研究所)
電話番号	Tel: 31-09-05, 26-49-97 Tel: 31-14-30
法的組織形態	81(全ロシア法的組織形態分類) 経済活動の種類: 魚加工、海洋養殖、水産養殖
プロジェクト概要	
プロジェクト事業構想(目的)	プロジェクトの目的は、以下の通りである: <ul style="list-style-type: none">魚類資源の保存及び再生産魚類資源及び他の生物資源の効率的な利用生物資源廃棄物の総合的な高度加工に基づいた、広範な品揃えによる製品の出荷 プロジェクトでは、水産養殖及び海洋生物資源再生産センターの設立が見込まれている。センターの事業には、大陸棚での食用蟹の養殖、またバイオテクノロジー及び環境保護の分野における科学ポテンシャルの営利化も含まれる。 立地: ハサン地区ポシエト湾水域及びムラヴィヨフ・アムールスキー半島地区。 経済効果: 追加で約 10 万件の雇用創出。
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	研究・教育生産・産業ベース。国立海洋生物圏保護区。
準備水準及びプロジェクトの審査	プロジェクト構想部門における科学生産試作。連邦目的科学技術プログラム「2007～2012年の科学及び技術の優先的発展方針による調査及び開発」の枠内でのプロジェクト主要措置の実施。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	9億5000万ルーブル
・自己資金	4億ルーブル
・調達資金	5億5000万ルーブル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金
プロジェクトの基準実施期間	2009年～2012年
投資の返済形態	産業地区及び船舶の役務、製品の販売から得られる収入

2. 無人潜水艇の設計、製造、試験を行うロボット工学センターの設立及び発展

プロジェクト発起人 = 企業 (組織) に関する情報	
ロシア科学アカデミー極東支部海洋技術問題研究所 ロシア科学アカデミー極東支部オートメーション及び制御手順研究所	
住所	690950 ウラジオストク市スハノフ通り 5a (海洋技術問題研究所) 690041 ウラジオストク市ラジオ通り 5 (オートメーション及び制御手順研究所)
電話番号	Tel: 43-26-51, 43-26-44 Tel: 31-04-39
法的組織形態	81 (全ロシア法的組織形態分類) 経済活動の種類: ロボット工学
プロジェクト概要	
プロジェクト事業 構想 (目的)	<p>プロジェクトの主要目的: 自律無人潜水艇の新しい実験用プロトタイプ の設計、製造、試験を目的とした、試験調査及び実験生産センター (太平洋水 中ロボット工学設計運用センター) の設立。この潜水艇は、以下の経済活動 での利用を目的としたものである:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大陸棚の開発 • 地質調査活動の実施 • 海洋動物相のモニタリング実施 • ドリリングプラットフォーム用地の選択に際しての利用 • 海底パイプラインルートの敷設 • 海底パイプラインの状態に対する監視など <p>期待される効果: 「太平洋水中ロボット工学設計運用センター」プロジェクト の実施による社会経済効果は、何よりも沿海地方における新しいハイテク生 産の構築に結びついており、その製品は、極東地域だけでなく、ロシア連邦 防衛省、非常事態省、連邦原子力局、公開型株式会社「ガスピロム」を含 む、連邦レベルの諸省庁の生産機構にとっても、重要かつ商業的意義を持 つものである。</p> <p>高い技能を持った専門家を対象とした、賃金の高い、約 300 件の雇用の創 出が見込まれる。</p> <p>自律無人潜水艇の利用の展望は、防衛、海洋学、生態学、海洋地質学、 炭化水素資源鉱床の開発、海底パイプライン及びケーブルの敷設及び機能 の確保といった分野における、広範な一連の課題の解決に結びついてい る。</p>
プロジェクトに対 する原料 (資材) の確保	研究所の研究・教育生産ベース
準備水準及びプ ロジェクトの審査	プロジェクト構想部門における科学生産試作。連邦目的科学技術プログラム 「2007～2012 年の科学及び技術の優先的発展方針による調査及び開発」の 枠内でのプロジェクト主要措置の実施。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総 費用 内訳:	16 億ルーブル
・自己資金	7 億ルーブル
・調達資金	9 億ルーブル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金

プロジェクトの基準実施期間	2009年～2012年
投資の返済形態	製品の販売から得られる収入

3. 太平洋ナノテクノロジーセンターの設立

プロジェクト発起人 = 企業 (組織) に関する情報	
ロシア科学アカデミー極東支部オートメーション及び制御手順研究所	
住所	690041 ウラジオストク市ラジオ通り5(オートメーション及び制御手順研究所)
電話番号	Tel: 31-04-39
法的組織形態	81(全ロシア法的組織形態分類) 経済活動の種類: ナノテクノロジー産業
プロジェクト概要	
プロジェクト事業 構想(目的)	<p>プロジェクトの目的は、ナノテクノロジー研究センター(太平洋ナノテクノロジーセンター)の設立にある。これは、以下に関する有望な研究の総合的課題を解決できるものと位置づけられている:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナノテクノロジー及びナノ素材の構築 ・ これに基づいた、化学、物理学、生物学、光学、医学、機器工学の分野での、イノベーション構想の獲得 <p>ここでは、沿海地方の各大学及びロシア科学アカデミー極東支部の諸分野の研究所における研究員のポテンシャル統合が見込まれている。</p> <p>太平洋ナノテクノロジーセンターの活動の主要目的は、以下の通りである:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機・無機ナノ物質の現象、構造、特性に関する基礎的理解の発展 ・ これに基づいた、新素材の開発に向けられた基礎科学及び応用科学における国際水準の達成 ・ 最新のナノ素材の獲得及び産業テクノロジーに繋がる総合研究の確保 ・ ナノテクノロジー及びナノ素材の分野におけるロシア科学アカデミー極東支部のイノベーション活動の発展 <p>期待される効果: 「太平洋ナノテクノロジーセンター」プロジェクトの実施による社会経済効果は、何よりも以下に結びついている:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿海地方における新しいハイテク生産の発展 ・ 建設、造船及び航空機工業、自動車産業、電力産業、医療、エレクトロニクス、通信、情報システムといった有望な部門のために、これまで知られていなかったユニークな特性を持った新素材を生み出すテクノロジーの開発 ・ 沿海地方での、様々な分野に渡る、有望で、賃金が高い、新たな雇用の創出 <p>太平洋ナノテクノロジーセンターでは、500 人以上の雇用の創出が予定されている。</p>
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	研究所の研究・教育生産ベース
準備水準及びプロジェクトの審査	<p>プロジェクト構想部門における科学生産試作。連邦目的科学技術プログラム「2007～2012年の科学及び技術の優先的発展方針による調査及び開発」の枠内でのプロジェクト主要措置の実施。</p> <p>利用されるメカニズム: 当該活動方針の緊急性及び重要性は、ロシア連邦における科学、テクノロジー、技術に関する優先発展方針リストの項目「ナノシステム及び素材の産業」(2006年5月21日付ロシア連邦大統領令第Pr-843号)、ロシア連邦臨界技術一覧の項目「ナノテクノロジー及びナノ素</p>

	材」(2006年5月21日付大統領令第Pr-842号)、連邦目的プログラム「2008～2012年のロシア連邦におけるナノテクノロジー・インフラの形成及び発展」により確定される。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	10億ルーブル
・自己資金	5億ルーブル
・調達資金	5億ルーブル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金
プロジェクトの基準実施期間	2009年～2012年
投資の返済形態	産業地区及び船舶の役務、製品の販売から得られる収入

4. 太平洋バイオテクノロジーセンターの設立

プロジェクト発起人 = 企業(組織)に関する情報	
ロシア科学アカデミー極東支部太平洋生物有機化学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部 V.A. Zhirmunsky 記念海洋生物学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部生物土壌研究所	
住所	690022 ウラジオストク市ウラジオストク 100 周年大通り 159(太平洋生物有機化学研究所) 690014 ウラジオストク市パリチェフスキー通り 17(海洋生物学研究所)
電話番号	Tel:31-14-30 Tel:31-09-05, 26-49-97
法的組織形態	81(全ロシア法的組織形態分類) 経済活動の種類: バイオテクノロジー及び薬品工業、ハイテク製品の生産
プロジェクト概要	
プロジェクト事業構想(目的)	プロジェクトの目的は、以下の通りである: <ul style="list-style-type: none"> • “海洋生物資源及び植物生物資源を高度加工する総合的ハイテクノロジーの開発”及び“人の正常な生命活動を維持するのに欠かせない薬品、食品、飼料、その他の有価地物の生産におけるその利用”に関するセンターの設立 • 生物多様性の保存 • 天然原料及び農産物原料の再生産 期待される効果: バイオテクノロジー及び自然保護の分野でのハイテク開発の商業化が見込まれている。 極東の海洋バイオ原料及び植物原料の総合的加工に基づいた、薬剤、生理活性添加剤を含む、ハイテク製品の生産を行う一連の生産ラインの建設が見込まれている。
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	研究・教育生産・産業ベース。国立海洋生物圏保護区。
準備水準及びプロジェクトの審査	プロジェクト構想部門における科学生産試作。連邦目的科学技術プログラム「2007～2012年の科学及び技術の優先的発展方針による調査及び開発」の枠内でのプロジェクト主要措置の実施。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	12 億ルーブル
・自己資金	4 億ルーブル
・調達資金	8 億ルーブル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金
プロジェクトの基準実施期間	2009 年～2012 年
投資の返済形態	ハイテク製品の販売から得られる収入

5. ウラジオストク市における情報テクノロジー(IT)テクノパークの設立及び発展

プロジェクト発起人=企業(組織)に関する情報	
ロシア科学アカデミー極東支部オートメーション及び制御手順研究所	
住所	690041 ウラジオストク市ラジオ通り5(オートメーション及び制御手順研究所)
電話番号	Tel:31-04-39
法的組織形態	81(全ロシア法的組織形態分類) 経済活動の種類: ハイテクテレコミュニケーション産業
プロジェクト概要	
プロジェクト事業構想(目的)	<p>目的: プロジェクトの目的は、情報テクノロジー(IT)テクノパークの組織にある。これはIT企業のために、既存のインフラを発展させると共に、新しいインフラを築くことを可能とするものである。これには以下が含まれる:</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部世界に繋がる通信回線 オフィススペース 専用実験室 共用マーケティングサービス及び商業サービス <p>期待される効果: 2009~2010年のプロジェクト実施第一段階では沿海地方に600件以上の雇用が創出され、これに続くITテクノパーク発展段階では新たな雇用数が2~3倍に増加する。</p>
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	研究所の研究・教育生産ベース
準備水準及びプロジェクトの審査	プロジェクト構想部門における科学生産試作。連邦目的科学技術プログラム「2007~2012年の科学及び技術の優先的発展方針による調査及び開発」及び連邦目的プログラム「2008~2010年のロシア連邦におけるナノ産業のインフラ発展」の枠内でのプロジェクト主要措置の実施。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	18億ルーブル
・自己資金	8億ルーブル
・調達資金	10億ルーブル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金
プロジェクトの基準実施期間	2009年~2012年
投資の返済形態	産業地区及び船舶の役務、製品の販売から得られる収入

6. 2013 年までの期間のアジア太平洋地域におけるロシア連邦の効果的な国家地政学及びロシア極東の安定した社会経済発展を目的とした極東諸海的环境安全に係る最新イノベーションテクノロジーの実現及び発展

プロジェクト発起人 = 企業(組織)に関する情報	
ロシア科学アカデミー極東支部 A.V. Zhirmunsky 記念海洋生物学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部 V.I. Il'ichev 記念太平洋海洋学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部オートメーション及び制御手順研究所 ロシア科学アカデミー極東支部化学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部海洋技術問題研究所 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋生物有機化学研究所 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋地理学研究所 公開型株式会社「Nereida」 太平洋漁業研究センター 極東水文気象研究所	
住所	690014 ウラジオストク市バリチェフスキー通り 17(海洋生物学研究所)
電話番号	Tel: 31-09-05, 26-49-97
法的組織形態	81(全ロシア法的組織形態分類) 経済活動の種類: 環境安全、ハイテクイノベーションテクノロジー
プロジェクト概要	
プロジェクト事業構想(目的)	<p>プロジェクトの目的は、2013 年までの期間のアジア太平洋地域におけるロシア連邦の効果的な国家地政学及びロシア極東の安定した社会経済発展の問題解決に、イノベーションテクノロジーを活用することにある。</p> <p>バイオセーフティー問題の重要性及び緊急性を考慮し、ロシア科学アカデミー極東支部の総合プログラム「ロシア連邦極東諸海のバイオセーフティー」には、以下の一連の課題が含まれる:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実験場でのリアルタイムによる情報伝達システム及び無人電子ブイの試験。極東諸海のモニタリング水域に設置されるブイシステムの開発。 • 生態系の変化の前兆を早期に検出する新技術の試験(微細藻類及び細菌プランクトンなどの色素分析及び酵素分析) • 地域における生物資源及び生物多様性の状態及び動態に関するデータを、一般化及び体系化するための地理情報システム(GIS)テクノロジーの開発 • 極東諸海の細菌プランクトン及び植物プランクトンに対する衛星モニタリングシステムの組織 • ピョートル大帝湾の実験場(「Nereida」海洋養殖業地区)を例とする、開放水域における海洋養殖業に対する環境モニタリング及び役務を行う小型潜水艇の開発 • ピョートル大帝湾を例とする、様々なタイプの水利施設、企業の冷却システム、港湾水域における、付着生物に対するモニタリングシステムの開発 • 付着生物から表面を保護する効果的なテクノロジーの開発 • 潜在的に危険な水生生物の移動防止を目的とした、水バラストの保護及び処理テクノロジーの開発 • 国際バラスト水管理プログラム「GloBallast」の枠内での極東地域センターの組織

	<ul style="list-style-type: none"> ・「海産物及び海水域の生体毒性に対するモニタリング及び検証を行う地域センター」の組織 ・ バイオ吸着剤の製造に係る試験研究区画の活動開始 <p>期待される効果:プロジェクト実施第一段階で 1100 件の新たな雇用の創出</p>
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	研究・教育生産・産業ベース。国立海洋生物圏保護区。
準備水準及びプロジェクトの審査	プロジェクト構想部門における科学的試作。連邦目的科学技術プログラム「世界海洋。2003～2010 年における世界海洋の自然研究」、ロシア科学アカデミー極東支部常任委員会決定 2007 年 1 月 24 日付第 1 号「ロシア科学アカデミー極東支部総合目的プログラム『ロシア連邦極東諸海のバイオセーフティ』について」の枠内での、プロジェクト主要措置の実施。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	12 億ルーブル
・自己資金	4 億ルーブル
・調達資金	8 億ルーブル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金
プロジェクトの基準実施期間	2009 年～2012 年
投資の返済形態	産業地区及び船舶の役務、製品の販売から得られる収入

7. 太平洋水域の主要対象における市場の安定及び確実な漁獲を確保する教育・科学・生産クラスターの構築

プロジェクト発起人 = 企業(組織)に関する情報	
高等専門教育連邦国立教育機関「極東国立水産大学 (Far Eastern State Technical Fisheries University)」	
住所	690087 ウラジオストク市ルゴワヤ通り 52-b
電話番号	Tel : (4232)44-03-06, (4232)44-25-03, E-mail: festfu@mail.ru , imf.dalrybvtuz@mail.ru .
法的組織形態	72(全ロシア法的組織形態分類)
プロジェクト概要	
プロジェクト事業構想(目的)	違法で、規制できず、制御不能な漁獲の誘因となる、曖昧さ及びリスクの排除。
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	研究・教育生産・漁獲船、海洋バイオハイドロ物理 (biohydrophysical) 区域、漁業モニタリングセンター、漁獲における状況分析及び的確な判断の漁獲トレーニングシミュレーション・スタンド。
準備水準及びプロジェクトの審査	漁獲条件における水生生物の行動の分野における科学的試作。プロジェクトのガイドラインは、2008年9月3～5日にウラジオストク市で開催された第3回国際漁業者会議で審議され、2008年11月26～27日にモスクワで開催された第2回国際学術実践会議「水生生物資源利用の効率性向上」の資料で公開された。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	9000 万米ドル
・自己資金	4500 万米ドル
・調達資金	4500 万米ドル
投資形態	テクノロジー、設備、実験室装備、船舶、現金
プロジェクトの基準実施期間	5年
投資の返済形態	産業地区及び船舶の役務から得られる収入

8. 海水からのバイオ燃料の生産

プロジェクト発起人 = 企業(組織)に関する情報	
住所	ウラジオストク市第1サドワヤ通り12-1
電話番号	Tel/Fax:(4232)43-18-37 携帯:70-68-92
法的組織形態	有限責任会社
プロジェクト概要	
プロジェクト事業 構想(目的)	1. 海水からのバイオ燃料の生産 2. 海水のゼロポイントからの水素燃料の生産
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	プロジェクトに対する原料の確保は、投資家の判断による。
準備水準及びプロジェクトの審査	バイオ燃料プロジェクトでは、特許を得て、必要な実験室内研究が行われている。水素燃料生産プロジェクトの研究活動が進められている。
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	バイオ燃料:600万~800万ルーブル 水素燃料:300万~400万ルーブル
・自己資金	自己資金なし
・調達資金	バイオ燃料:200万~300万ルーブル 水素燃料:100万~200万ルーブル
投資形態	投資形態:任意
プロジェクトの基準実施期間	プロジェクトの実施期間:2~3年
投資の返済形態	投資の返済形態:プロジェクトの持分、プロジェクトの売却

9. サブスタンス「海のカクテル」の生産

プロジェクト発起人 = 企業(組織)に関する情報	
住所	沿海地方ウラジオストク市クトゥゾフ通り 60
電話番号	Tel: 8-4236-36-24-78
法的組織形態	有限責任会社「Orient Bio Park」
プロジェクト概要	
プロジェクト事業構想(目的)	<p>有限責任会社「Orient Bio Park」は、清算されたパルチザンスク化学製薬工場の複合資産をベースにして 2005 年に設立された。会社は、海洋水生生物及び真昆布から、食品用生理活性添加剤を生産している。少し前に設立され、パルチザンスク化学製薬工場と同じ工業地区にある、有限責任会社「Biopolimery」と協同で、生理活性添加剤の品揃えは 25 品目以上を数える。海洋水生生物の加水分解物を真昆布に加えて作られた「海のカクテル」は、食料品として登録されている。サブスタンス(乾燥粉末)である「海のカクテル」をベースにして、購入者は以下の様々な食品を作ることができる: ヨーグルト、パスタ、ソース、ジャム、パン製品など。</p> <p>サブスタンス「海のカクテル」の生産量は、年間 36 トンが計画されている。</p>
プロジェクトに対する原料(資材)の確保	<p>労働資源はある。</p> <p>電力(2 台目のトランス装置が必要)。</p> <p>リースによる交通機関。</p> <p>ガスは必要ない。</p> <p>水は確保されている。</p> <p>沿岸漁業各社との事前合意により、1000 トンの原料資源(昆布及び水生生物)が確保されている。</p>
準備水準及びプロジェクトの審査	準備水準 37%
プロジェクトの財務評価	
プロジェクトの総費用 内訳:	プロジェクトの実施に必要な投資額は、計 740 万ルーブル。
・自己資金	320 万ルーブル
・調達資金	420 万ルーブル
投資形態	リース、授権資本参加
プロジェクトの基準実施期間	8 カ月
投資の返済形態	製品の販売から得られる収入